

◆特別インタビュー アメリカのおばあちゃん起つ——「おばあちゃんの平和旅団 Granny Peace Brigade」

## 憲法9条は私たちの未来です

ため息グランパ 須田稔

肝っ玉グランマ ニディア・リーフさん にきく

聞き取り・翻訳・まとめ 山口良子(K9MP)  
写真撮影・いずぶちときこ(K9MP)

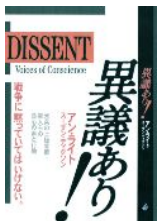


二〇一一年八月八日 午後六時〜八時 日本聖公会京都教区センターにて  
ニディア・リーフさんと平和を語る夕食会

主催・京都宗教者平和協議会、京滋キリスト者平和の会

アメリカ人のニディア・リーフさんは、K9MPの盟友・アン・ライトさんの無二の親友で、『異議あり!』に序文を執筆。アメリカで「おばあちゃんの平和旅団」を率いて活動。原水爆禁止世界大会に参加のあと、京都に立ち寄られました。当日は、アメリカの母、祖母の平和の活動などを聞き、交流。通訳は、『異議あり!』の邦訳者で「コード・ピンク大阪ジャパン」の尾川寿江さん。邦訳を監修した須田稔共同代表から、ニディアさんへのインタビューは、交流会の後に、同じ会場で行われました。

(K9MP事務局 いずぶち ときこ)



憲法9条のような「戦争放棄」を謳う憲法を世界中の国で

須田 ニディアさん、日本国憲法9条のことについてお話ししたいのですが…

ニディア 以前、コリン・パウエル国務長官は、小泉純一郎首相にこう言いました。「国連の安全保障理事会の常任理事国になりたいのなら、憲法9条を廃止しなければなりません」と。

須田 日本国憲法、特に平和を希求する憲法9条についてですが、憲法9条は、一九九九年のハーグ世界市民会議で採択された「世界秩序一〇原則」の第一の原則としてあげられ、「戦争放棄」を謳うこのよ

うな憲法を、これからは地球上のどの国でも持たねばならないとされました。私はそれをとても誇りに思っていますし、世界の良心を信じています。

ニディア 日本の憲法9条のような憲法を、世界のあらゆる国で持つべきだと思っています。

須田 日本の自衛隊の元教官が「日本も核武装しなければならぬ」と最近の本で書いているのを知って絶望しそうになるのですが、M・L・キング牧師の言うように「絶望の山から希望の石を切り出さなくてはいけない」と思っています。

ところで、「おばあちゃんの平和旅団」では、最年長の方は何歳ですか。

「おばあちゃんの平和旅団」、最高齢は九七歳 逮捕もされた！

ニディア 最年長では九七歳の方が二人、三月生まれと四月生まれです。一番若いひとは六四歳です。

須田 どなたか息子さんを戦争に送った人はいませんか。

ニディア 誰もいません。子どもを戦争に送った人は誰もいませんが、私たちの兄弟で第二次大戦、朝鮮戦争に行った人はいます。ヴェトナム戦争に行った人はいません。ヴェトナム戦争の退役軍人の人たちは、平和のための行動を共にしています。

ニューヨーク五番街のロックフェラーセンターには全米各地、世界各地から観光客がたくさん来るの



ですが、そこで毎週水曜日四時半～五時半の間、平和のための行動をしています。私たちは旗（横断幕）を持って、ピラを配っています。  
「アフガニスタン、イラクから兵士を帰らせよう！ 今すぐ軍隊を帰国させよう！殺人をやめよう！」って呼びかけながらね。

須田

何枚くらいピラを作って、まいているのですか。

ニディア

それは場合によります。ロックフェラーセンターに来る人たちの中には外国からの観光客も多く英語を話さない人がたくさんいます。ピラは英語だけで書かれています。英語だけでなくいろいろな国の言葉でピラを書くべきだと思うのですが…。私はスペイン語、フランス語を話せるけれど、ポルトガル語、ロシア語、スカンディナヴィアの言語は話せません…。ですがロックフェラーセンターに来る人たちは、よく私たちと一緒に写真を撮ります。彼らは平和でありたいという気持ちを持ってニューヨークに来ていて、平和を愛する人たちで、私たちのまわりに集まってきて、家族や親せきと一緒に写真を撮ると、私たちの行動に参加し、感謝してくれます。

須田

そのような行動をしていて逮捕されたことはありませんか。

ニディア

はい。

須田

何時間くらい、何日くらい拘束されましたか。

ニディア

午後二時に逮捕され、夜中の一時一五分に釈放されました。近くに大きなデパートがあつて、そこで万引きした人が次々に三人が留置場に放り込まれました。私たちの後から放り込まれたのに彼らの方が先に釈放されました。私たちは写真を撮られました。私たちが裁判に訴えたら、彼ら当局は、告訴を取り下げて、「忘れてくれ、なかつたことにしてくれ」と言いました。

…じく…ここからが圧巻です。



もくじ

特別インタビュー 「おばあちゃんの平和旅団」ニディア・リーフさん 憲法9条は私たちの未来です 11

会場からの質問に答えて ニディアさんを行動に駆り立てるその原動力、思いはどこから…？ 17

「須田 稔の部屋」(K9MPホームページ・ブログ 2006・4～2011・9)

◎ 未来への希望 子どもたち 19

◎ 生命と共存できない核や原発に 未来はない 33

◎ 怒りの沖縄 83

◎ だれもが 迫害されず 等しくのびやかに 115

◎ 乗り方をふりかえり アジアの人としての私 151

◎ 政治は誰のため 何のため 政治を 主権者の手に 167

◎ マスコミに 喝！ 193

◎ 不戦のねがい 憲法のこころ 205

◎ 2011年9月 怒りの季節 9月も残忍な所業で泥まみれだ 237

特別寄稿 「災害をどう見るか」 いまこそ腹の底から憲法でいこう！ 柴野 徹夫 K9MP編集統括 241

K9MPから 日本中のどこもかしこも、時代を語る草の根の「しゃべり場」に 245

各地の「しゃべり場」からのお便り、そして事務局からも 248

日本中に「草の根市民運動」を！ 目からウロコのブックレット 251 あとがき 254 須田 稔のプロフィール 255



それぞれの章の扉には、神門康子さんの絵が載っています！  
全部で八章です。だから絵も八枚です。  
「はじめの章」の「一番はじめ」のところだけけど、教えてあげるね。  
見てみて！



未来への希望  
子どもたち



みんなと  
たのしく あそべてこそ  
へいわだよ！  
じぶんだけがいい  
へいわなんて ないよ  
せんそうは にせもの  
へいわは ほんもの

09 京都平和のための戦争展  
ピース・タペストリーへの寄せ書き  
小学四年・女子

◆「母の日」の源流 二〇〇六年五月 「母の日」に寄せて

## 世界の子どもたちと女性の正義と平和のために

「母の日」はアメリカで始まりました。その源流は一三六年前に遡ります。わたしも初めて知ったのですが、南北戦争に反対したアメリカの女性詩人・社会改良家・ジュリア・ウォード・ハウ（一八一九—一九一〇）が、一八七〇年に宣言を発表したのでした。この宣言文は次のようです。



さあ、女性たちよ、この日、立ち上がろうじやありませんか！ 心あるすべての女性よ、立ち上がりましょうよ！

夫たちは、抱擁と拍手喝さいの名誉の戦死で、還つて来ないでしょう。

息子たちは、わたしたちから博愛と慈悲と忍耐を学びとる前に、送り出されるでしょう。わたしたち自国の女性は、自分の息子が他国の女性たちの息子を殺傷することを許すわけにはいかなのです。

荒廃した地底から一つの声が、わたしたちの声と一つになって、叫んでいます。武器を捨てよ！ 武器を捨てよ！

殺人のための武器は、正義とバランスがとれるものではないのです。血は不名誉を拭い去らず、暴力による占有は正義ではありません。



男たちが、しばしば、すき（鋤）やかなしき（鉄敷）を捨てて、戦場に応召するように、女たちは、いま、家事を離れ、重大で真剣な相談のために集まりましょう！  
女性として、まずは集まり、死者のために嘆き悲しみ、死者のために祈りましょう。  
厳粛に知恵を絞り出し合い、神聖な人間家族が平和に暮らせる道を見出しましょう。

わたしは、ひたすら、女性と人類の名において、求めます。  
国籍の別なしに女性たちが集まる全体会議の日が決められ、  
もつとも集まりやすい場所、その目的に合うもつとも早い時期に、  
さまざまな国の同盟を促進し、国際的な諸問題の平和的な解決をめざして、  
偉大で全体的な平和への関心と行動を結集する日を持つようではありませんか！

アメリカ女性の反戦団体「コードピンク」が、母の日に向けて、首都ワシントンに徹夜で集まります。ホワイトハウス前で、大統領夫人ローラさん宛て手紙の朗読のほか、有名な女優・歌手・作家なども加わり、正義と平和のために立ち上がり、  
「コードピンク」は、ローラ・ブッシュ夫人に世界各地から手紙を書き送ろうと、呼びかけています。手紙の一部は『ローラへの手紙』として出版する予定とのことです。  
憲法9条・教育基本法の改悪を許さない決意を世界の女性に伝えましょう。男性もぜひ書き送りましょう。

この情報は、コードピンクからキリスト教非戦平和団体の日本友和会（女性の会）へ届いたものです。

Mother's Day Proclamation 《「母の日」宣言 原文》

Arise, then, women of this day!  
Arise, all women who have hearts!  
Whether your baptism be of water or of tears!  
Say firmly:  
"We will not have great questions decided by irrelevant  
agencies,  
Our husbands will not come to us, reeking with carnage,  
For caresses and applause.  
Our sons shall not be taken from us to unlearn  
All that we have been able to teach them of charity, mercy and  
patience.  
We, the women of one country,  
Will be too tender of those of another country  
To allow our sons to be trained to injure theirs."

From the bosom of the devastated Earth a voice goes up with  
Our own. It says: "Disarm! Disarm!  
The sword of murder is not the balance of justice."  
Blood does not wipe out dishonor,  
Nor violence indicate possession.  
As men have often forsaken the plough and the anvil  
At the summons of war,  
Let women now leave all that may be left of home  
For a great and earnest day of counsel.  
Let them meet first, as women, to bewail and commemorate the  
dead.  
Let them solemnly take counsel with each other as to the  
means  
Whereby the great human family can live in peace,  
Each bearing after his own time the sacred impress, not of  
Caesar,  
But of God.

In the name of womanhood and humanity, I earnestly ask  
That a general congress of women without limit of nationality,  
May be appointed and held at someplace deemed most  
convenient  
And at the earliest period consistent with its objects, To  
promote the alliance of the different nationalities,  
The amicable settlement of international questions,  
The great and general interests of peace.

詳しくは、本を読んでね。

